

ロジックモデル③

課題「高血圧の発症予防・重症化予防」

担当：Bグループ
(職域との連携グループ)

- 重点施策1 働き盛り世代の健康づくりの習慣化に向けたセルフマネジメントの推進
- 重点施策2 戦略的な普及啓発・広報強化

インプット(やるべきこと)		インプットに求める成果	アウトプット	アウトカム(達成したいこと)		インパクト
行政	関係団体			短期アウトカム	長期アウトカム	
◆全世代への適塩の推進 ・イベント、WEBサイト、SNS、広報誌等での啓発活動 ◆健康に関する情報の集約と発信 ・関係団体の好事例の取組の情報収集・発信 ・専門職による健康教育の実施 ・定期的な高血圧予防講演会の開催(行政、医療機関連携)	・健康教育、健診の実施(学校) ・健康教室、イベント、WEBサイト、SNSでの啓発活動(地域団体) ・健康講座やイベントの開催(医療機関、地域団体) ◆地域で身近で気軽に相談できる場の増加(健康や食の専門家等)(地域団体)	戦略的な広報や身近な相談場所の増加により、健康に関心が薄い人を含めた多くの人に健康情報を届けることができる。	・特定健康診査の実施率 ・特定保健指導の実施率 ・高血圧について普及啓発実施回数(イベント、WEBサイト、SNS、広報誌等) ・65歳未満対象の健康教室の実施回数(高血圧・適塩関連) ・宇治市健康づくり・食育アライアンス加入団体数	★「1日30分以上の運動習慣のない人」の減少 ・「毎日血圧測定する人」の増加※1	★「塩分摂取量(16歳以上)」の減少 ★「高血圧の改善(収縮期血圧130mmHg以上)」	★健康寿命の延伸
◆インセンティブのあるウォーキングアプリの活用等楽しみながら運動できる取組の実施	◆多世代が気軽に参加できる運動機会の増加(関係団体)	アプリ等をきっかけに運動習慣が付き、高血圧予防・重症化予防につながる。	・ウォーキングアプリの登録者数			
◆健診受診の必要性についての普及啓発 ◆企業との連携により、職域での健康づくりを支援	◆健診(検診)を受診しやすい環境の整備(企業) ・仕事と治療の両立の支援(企業)	健康管理をしている人が増える。	・きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証企業数			

- ★ 計画の目標項目として設定している項目
 ※1 健康づくりに関するアンケート(令和5年)
 ※2 人口動態統計 死因別死亡割合(令和4年)

「職域(企業)と連携した壮年期(働き盛り世代)の健康づくり～若い世代の健康意識を高めるための取組～」をテーマに、今後の行政・関係団体の取組内容について、グループワークにて検討